



南九州市「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、地球温暖化に伴う豪雨や猛暑、また台風の大規模化などの異常気象が増加しています。今後、災害が頻発・激甚化することが予測されており、私たちの生命や財産の危機、さらには自然環境や生態系への悪影響など、全ての生き物の生命を脅かす「気候危機」というべき状況にあります。

このような状況を踏まえ、災害から人々の生命・財産、自然の生態系を守るため、2015年に合意されたパリ協定では「産業革命以前からの平均気温上昇の幅を2℃未満の1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有され、この目標を達成するために「2050年までに二酸化炭素実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

将来像として掲げる「人と自然が共有する 活気あふれる 住みよいまち 南九州市」の実現に向け、循環型社会の形成への取り組みを加速させ、本市の恵まれた自然環境を次の世代につないでいくため、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へチャレンジすることを正式に表明し、脱炭素社会の実現に向け、市民や事業者と一体となって取り組んでいくことをここに宣言します。

令和4年2月15日

南九州市長 塗木 弘幸